

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年2月17日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	安来市	代表者名	安来市長 近藤宏樹
担当者部署	政策推進部	連絡先電話番号	0854-23-3060
担当者役職		担当者氏名	
住所	6920011 島根県安来市安来町878-2		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	遠藤 守
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	第1部ではオープンデータの意義などについて、分かりやすい説明があった。また、コンピュータが判読しやすいデータ形式の説明や、実際にデータの作成方法について説明があった。第2部では、政府が推奨しているデータフォーマットを利用し、県内19市町村の避難所データの作成、第3部では市役所職員、県庁職員、地元IT事業者等に集まって頂き、それぞれが感じている課題を話した上で、データによる解決方法を模索し、生徒には地域課題をデータで解決する、アプリやシステム等のアイデアが生まれ、生徒のデータ利活用の理解促進につながった。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年2月7日	9時30分	16時00分		390
3-2. 派遣場所	会場名	島根県立情報科学高等学校		最寄駅	安来
	所在地	安来市能義町310			
	最寄駅からの交通手段	職員による送迎			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	情報高等学校 情報システム科 2年生	36人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	オープンデータを推進していくためには、市民等の協働が必要不可欠である。現在オープンデータという言葉自体を知らない市民も多いのが課題である。今後の事業を推進していくためには、基礎知識の学習が必要である。さらに当市には、ITに特化した島根県立情報科学高等学校が立地しており、今後のIT人材が地域に根付く取り組みが必要である。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	講師による、オープンデータの基礎知識の学習、オープンデータを活用したワークショップの開催により、オープンデータを身近な存在であることを学習し、オープンデータを活用できる人材の育成を図る。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	安来市では、平成28年度よりオープンデータ事業を開始したこともあり、普段プログラミング等の学習している生徒を対象として、遠藤守講師によるオープンデータの基礎知識の講義及び政府推奨データである県内市町村の避難所データの作成を行った。また当講師のファシリテート、市職員、県庁職員、地元IT企業者による課題解決ワークショップを行った。詳細は別添資料	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	今回の企画を通して安来市がオープンデータの取組みを行っていることの発信ができた。今回生徒が作った県内市町村の避難所データは、島根県より各市町村にチェックを行って頂いた後、島根県のオープンデータカタログサイトに掲載される見通しである。オープンデータを自ら作成することで、地域人材の一人としての責任感、地元貢献の意識づけが出来た。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 島根県内19市町村の政府推奨フォーマットによる避難場所データ(別添のとおり)
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	今後は、高校の授業の一環としてオープンデータを活用した地域課題解決の授業が継続的に実施される。ITによる地域課題の解決などにより、地域の地域人材の育成、人材の市外流出の歯止めになるよう期待したい。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

